

在宅学習期間のホームルームについて説明させていただきます。私はこの4月から追手門大手前チームに参加した平山です。よろしくお願いします。

まず初めに、突然なのですが、去年1年間の学校生活を思い返してみてください。簡単に1年間といってもいろんなことがありますよね。春から夏、秋、冬、いろんなことがあったと思います。例えば、文化祭でこんなイベントを計画したとか、部活でこんな試合をしたとか、友達と休み時間にこんなことして最高に楽しかったとか。1年を思い返してみるといろんなことが詰まっているものです。

しかし……コロナ対策で在宅学習が続く中、皆さんのこれからの学校生活がどうなるかわかりません。もし仮に、1年間続いたとしたら、皆さんが今思い浮かべたような1年間の思い出や経験、それらすべてが失くなってしまうということを意味します。僕たちは教員なのでよくわかりますが、皆さんはいろんな経験やつながりの中で成長しています。ですから、今なくなりそうになっている、皆さんの学校生活をコロナから取り戻したいと先生チームは思っています。

取り戻したいものは大きく分けて2つあると思います。1つは「学び」そしてもう1つは「つながり」です。「学びはオンライン学習で取り戻す」というのは説明があったと思います。僕からは「つながりをどうやって取り戻すか」について話します。そのメインになるのは「クラスZoom」だと考えています。もうすでに朝のクラスZoomに参加した人たちもいると思います。中には朝早く起きないといけないから大変だ！とか、なんか意味あるの？とかいろんなことを思っている人がいるかもしれませんが、僕は現状の中では有効なツールになると思っています。

今から「クラスZoomの3つのポイント」について話したいと思います。1つ目は「みんなで参加しよう」ということです。やっぱりクラス全員が揃ったら気持ちいいですよね。1人が欠けていても2人が欠けていてもやっぱりクラスではありません。みんなで参加することを目指したいというのは意識しておいてほしいです。

2つ目は「ズームの中でプチがんばりをする」ということです。プチがんばりっていうのは何かっていうと、普通の学校生活の中で友達を作るとしたら自分から声をかけにいたりして友達を作ると思うんですけど、Zoomではちょっと違います。ZoomにはZoomのがんばり方があります。具体的にいうと、「ビデオオンにして参加する」ことです。お互い相手の表情を見ながら話すだけでスムーズにコミュニケーションがとれますよね。他には「チャットにどんどん書き込む」ことです。いろんな楽しいことや自分の思いを書きこむことでいい雰囲気生まれます。さらに、「LINEで呼びかける」こともいいですね。クラスZoomが始まる前に、まだ来てない友達がいたら、LINEなんかで呼びかけて一緒に参加する。こういう「プチがんばり」をみんなが持ち寄るとクラスZoomは必ず良いものになります。

3つ目は「自分でかんがえ、自分でつくる」ことです。クラスZoomは、今は毎朝15分程度なんですけど、今後は40分のロングホームルームなどにつながっていくといいなと思っています。たとえば、顔を合わせて会えないからこそ「学級目標」を決めようよ！とか、高校2

年生3年生が進路に向けたイベントをしようと企画するとか、そこは皆さんが自分で考えて作っていただけらと思っっています。なんで皆さん自身が考えて作っていかなければならないか分かりますか？理由はシンプルです。このクラスZoomは僕たち教員のものでなくて、皆さん自身、生徒自身のものだからです。皆さんのものを、皆さんで考えて、皆さん作っていく。これは大事な考え方です。

最後に、在宅学習期間で皆さんにとって何がベストなのかは僕たち教員にも正直わかりません。一生懸命いろいろ考えながら作っていったんですけど、日々試行錯誤です。おそらく世界中の先生たちが同じような気持ちで今やっています。厳しい状況の中で、僕たち教員だけの頑張りではいいものにはなりません。皆さん自身の頑張りとお互いの協力が必要です。僕たちも精一杯頑張るので、皆さんも一緒に頑張っしてほしいです。そうすれば、皆さんの素敵な学校生活を取り戻すことができると僕は思います。どうぞよろしくお願ひします。